

編集後記

今月号の特集は、鑑別に苦慮した皮膚病(2)である。診断に、あるいは鑑別に苦慮したというタイトルをつけるのは意外に勇気がある。というのは、ある人にとって考えた疾患が別の人にとってはそうでもない、ということもしばしばで、その人の臨床能力が反映されてしまう。一口に鑑別と言っても、臨床的な鑑別もあれば組織学的な鑑別もあるし、どちらの面においても迷う例はいくらでもある。さんざん考えた挙句に出した結論が必ずしも正しいとは限らない。しかしどうであれ、そこまで至った考えの筋道が正しければ、つまりこういう理由で自分たちが、少なくとも現時点ではこのように結論を出した、ということが示せれば、どのような病名をつけるかはあまり重要でないのかもしれない。結局、目の前の患者さんを一番よくみているのは当事者なのだから、自信を持って発表すればよいと思う。たまた学会発表で気になるのは、自分たちがどう考え、どう結論づけたかを言わないまま、フロアの先生のご意見を伺えれば幸いです、と丸投げしてくる演者もいる。複雑な症例であれば、3分間の紙芝居を初めて聞く側にわかるわけがないのと思いつつ、またかという気持ちで聞いている。

さて、前回の特集に続いて本号でも、鑑別に苦慮した疾患を、工夫を凝らして執筆いただけたと思う。それぞれの施設の苦勞が伝わると、読む方は面白いだろうし、読んだ感想も聞いてみたい。どのような出来栄になったか楽しみである。

また、今月号の総説は食物アレルギーの最近の進歩、話題を取り上げている。昨今、この分野の解析は大きく進み、皮膚アレルギー学会とかに参加すると、その進歩の早さに驚かされ、こちらも勉強しないとついていけないと思うこともしばしばである。是非よく読んでいただきたいと思う。

(T.Y.)

次号予告

Vol.38, No.7

特集 石灰化、骨化をきたす皮膚病

- ◆editorial 山本 俊幸
- ◆topics
 - Nantaの骨性母斑 勝俣 道夫
 - オステオネットワークについて 高柳 広、寺島明日香
- ◆統計
 - 二次性骨化症例 石川 真郷ほか
- ◆臨床例
 - 剖検所見を含めたcalciophylaxisの病理組織学的検討
 - 栗原 英美ほか
 - calciophylaxisによる陰茎壊死 朱膳寺典子ほか
 - 長期経過後の再発と考えたossifying fibromyxoid tumor 片山 博貴ほか
 - 妊娠を契機に増大した石灰化上皮腫の1例 白石 英馨ほか
 - 石灰化上皮腫を合併したRubinstein-Taybi症候群 渡辺 雪彦ほか
 - チオ硫酸ナトリウム外用により改善した皮膚石灰沈着症による下腿潰瘍 永田 絢子ほか
 - 日本人とポーランド人の両親をもつMilia-like idiopathic calcinosis cutis in Down syndrome(MICCD)の男児例 堤 碧ほか
 - Multiple miliary osteomas of the faceの1例 水田 栄樹ほか
 - 弾性線維性仮性黄色腫から生じた皮膚石灰沈着症 馬場加那子ほか
 - チオ硫酸ナトリウムが著効したCalciophylaxis 古橋 春佳ほか
 - 積極的なデブリードマンおよびLDL-アフェレシスを施行し治癒したcalciophylaxis 加太 美保ほか
 - 石灰化を伴った踵部の血管平滑筋腫 山田 良則ほか
 - primary plaque-like osteoma cutis 赤池 智子ほか
 - 弾性線維性仮性黄色腫 大野真梨恵ほか
 - ◆学会ハイライト
 - 第39回皮膚脈管・膠原病研究会を終えて 中島 英貴、佐野 栄紀
 - ◆蝶の博物詩 西山 茂夫
 - ◆診察室の四季 斉藤 隆三
 - ◆皮膚科のトリビア 浅井 俊弥
 - ◆声

皮膚病診療 Vol. 38, No.6(2016)

平成28年 5 月26日印刷

平成28年 6 月 1 日発行

1 部定価2,400円(本体) + 税 送料82円

年ぎめ予約購読料35,800円(本体) + 税

発売所／丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 西岡 清

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5

日土地虎ノ門ビル3階

電話：03-6838-9200(代) 03-6838-9225(編集)

振替口座：00190-0-36746

印刷所 株式会社 恒陽社印刷所

ご購読ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2016年

・JCOPY <(社) 出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。